

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">~2022</div> <h2 style="margin: 0; padding-left: 10px;">社会福祉学特別研究Ⅱ</h2>	担当教員	単位数	配当学年
	加藤 伸司	8単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		SR(演習)	

■事前受講してほしい講義等

社会福祉学特別研究Ⅰ、認知症ケア研究、認知症ケア演習

■授業のテーマ

高齢期にみられる社会福祉学的課題や心理学的課題と援助

■授業の目的

高齢期にみられる心理学的課題や認知症に関連した様々な社会福祉学的課題、心理学的課題を抽出し、研究の視点でまとめ、考察する。

■授業の到達目標

- ①これまでに行われてきた先行研究を学び、その内容を理解し、これまでの課題を説明することができる。また自身の力で、社会福祉学的課題や心理学的課題を抽出することができる。
- ②オリジナルな研究としてのテーマを選定することができ、研究の方法論を身につけることができる。
- ③テーマに沿った研究計画を作成し、論文としてまとめることができる。

■授業の概要(内容)

高齢者福祉、高齢者心理、認知症に関するテーマに関する研究指導を行う。テーマ選定については、担当教員のアドバイスを受け、目的、方法論を明確に定めていく。実際の研究にあたっては、担当教員とのディスカッションを繰り返しながら論文をまとめていく。

■授業の方法

個別指導

■授業時間外学修(予習・復習等)

関心のあるテーマに関しては、先行研究の論文を熟読し、研究方法や結果、考察のまとめ方について学修することが必要。

■評価の方法・基準(評価割合)

本研究への取り組み(10%)、3回のレジュメ(10%)、論文内容(70%)、最終プレゼンテーション(10%)で評価。

■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導を受けること。3回のレジュメ(構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回中間レジュメ)提出が必須。

■論文作成の流れとポイント（テーマ・内容等）

	ポイント
1	テーマ：オリエンテーション 内容：年間授業計画と方法を説明します
2	テーマ：研究テーマ検討 内容：研究テーマをディスカッションを通して検討します
3	テーマ：研究テーマ決定 内容：質問票やメールでのやりとりを行って自身のテーマを決定します
4	テーマ：先行研究文献検討1 内容：研究テーマに近い先行研究を選定します
5	テーマ：先行研究文献抄読1 内容：先行研究の文献を抄読します
6	テーマ：先行研究文献抄読2 内容：先行研究の文献を抄読します
7	テーマ：先行研究文献抄読3 内容：先行研究の文献を抄読します
8	テーマ：先行研究文献抄読4 内容：先行研究の文献を抄読します
9	テーマ：研究計画作成1 内容：先行研究を参考に研究計画作成にとりかかります
10	テーマ：研究計画作成2 内容：先行研究を参考に研究計画を作成します
11	テーマ：研究計画作成3 内容：先行研究を参考に研究計画を作成し、ディスカッションを行います
12	テーマ：研究計画作成4 内容：研究計画の修正を行います
13	テーマ：分析方法検討1 内容：研究結果の分析方法を考えます
14	テーマ：分析方法検討2 内容：分析方法の妥当性についてディスカッションを行います
15	テーマ：調査法検討1 内容：実証研究の場合に調査法を検討します
16	テーマ：研究計画中間まとめ 内容：研究計画の中間のまとめを行います
17	テーマ：調査法検討2 内容：調査方法をまとめ調査票等の作成をします
18	テーマ：調査実行1 内容：調査を実際に開始します
19	テーマ：調査実行2 内容：調査時実施上の課題等についてディスカッションします
20	テーマ：データ入力1 内容：データのクリーニングを行って入力します
21	テーマ：データ入力2 内容：データのエラーをチェックします
22	テーマ：データ分析1 内容：データ分析方法を確認して実行します
23	テーマ：データ分析2 内容：データ分析中間報告を行って課題を検討します

ポイント	
24	テーマ：結果作成 1 内容：データ分析の結果を「研究結果」としてまとめます
25	テーマ：結果作成 2 内容：研究結果を報告して課題を検討します
26	テーマ：まとめ 内容：目的、方法、結果のまとめを行います
27	テーマ：考察作成 1 内容：考察部分をまとめます
28	テーマ：考察作成 2 内容：考察を報告し課題を検討します
29	テーマ：論文のまとめ 内容：論文全体の概要を報告して課題をまとめます
30	全体構成確認 論文の全体構成を最終確認して完成させます

■教科書・テキスト

- ・テキストは使用しませんが、関連する先行研究の論文を教材として使用します。
- ・論文作成に必要なテキストや論文、適宜紹介します。

■参考書・参考資料・参考 URL 等

実証的研究を行う場合には、統計の基礎に関する参考書をその都度提示します。